

[ラルフ・W・ハリス]「聖霊」

00.背景

二十世紀の宗教界における目ざましい発展の一つは、「ペンテコステ」と呼ばれるグループの出現である。この名前はこの人たちが、使徒行伝2章に記されている、五旬節の日
に起こったものと同じ経験を信じていることから、つけられたものである。

ペンテコステの人たちは多くの団体に分かれているけれども、彼らがこの経験を「聖霊
のバプテスマ」と呼ぶことで一致している。



1. “ペンテコステ”グループの出現

今世紀のはじめ頃、多くの敬虔（けいけん）な人たちが、リバイバルのために熱心に神を
求めた結果、彼らの上に聖霊が注がれたのである。このニュースは数年の間に全世界に広まり、
幾千という人たちが、このペンテコステの経験にあずかった。昔、ペンテコステの日、
また初期の教会時代に聖霊を受けた人たちのように、聖霊のバプテスマにあずかったと証
（あか）している人は今日、数百万にも及んでいる。

2. 聖書が語る経験

聖書はキリストの再臨に先立って、聖霊がいちじるしく働かれるということを示している。
教会をキリストの花嫁として整えるのは聖霊の働きであるから、このことは容易に理解出来
る。しかし、信者はこのすばらしい聖霊の働きに対する責任を負っているのである。私たち
は聖霊が与えてくださる祝福と共に、その性質、働きについてよく知らなければならない。
私たちは聖霊が、個人または全体としての教会に対して願っていることの、すべてを知らな
なければならない。

特に聖霊のバプテスマを受けた人たちは、聖霊とその働きについて知らなければならない。
このすばらしい経験を持つということ、そして、それをわかりやすく他人に語る事が出来る、
ということは大切なことである。自分の立場を守るだけでなく、ほかの人たちをこの輝
かしい経験に導くように、確信を持って語らなければならない。

3. すばらしい経験

聖霊のバプテスマはすばらしい経験である。しかし、聖霊は信じる者たちに対して、ほかにも多くの方法で働くことを願っている。聖霊を人格を持つお方として、友として知ることが可能なことである。罪人が救われる時、聖霊はその人のうちに宿り、私たちが祈る時、とりなし、教師として私たちにすべての真理へと導き、またキリストを証しするためそして、に私たちに励まし、カづけてくれる。

この書を読み、また学ぶ時、あなたの生涯のすべてを、聖霊に向けて開放していただきたい。聖霊に関する、より多くの知識を得ることは有益であるが、さらに大切なことは、目の前に開かれる、すべての真理の道を歩くことが出来るように、あなたの心を開くことである。

質問)

1. 先日までの学び「聖霊の深みを読み解く」で学んだこと共通する内容は何か・
2. 今回、はじめて聞く内容はなんでしたか？
3. この学びの最初に、何をチャレンジされていますか？
4. この学びに何を期待しますか？